

2. 研究成果一覧

〈学術論文〉

1. Nagahara, R., Kanehisa, H., Matsuo, A. and Fukunaga, T.: Are peak ground reaction forces related to better sprint acceleration performance. *Sports Biomechanics*, 20(3): 360-369, 2021.4
2. Feser, E, H., Neville, J., Bezodis, N., Macadam, P., Uthoff, A, M, Nagahara, R., Tinwala, F. amd Cronin, J, B.: Waveform analysis of shank loaded wearable resistance during sprint running acceleration. *Journal of Sports Sciences*, 39(17): 2015-2022, 2021.4
3. Kai, T., Hirai, S., Anbe, Y., Takai, Y.: A new approach to quantify angles and time of changes-of-direction during soccer matches. *PloSone*, 16(5), 2021.5
4. Nagahara, R. and Gleadhill, S.: Catapult start likely improves sprint start performance. *International Journal of Sports Science & Coaching*, 2021.5
5. Ohshima, Y., Bezodis, N., Nagahara, R.: Calculation of the centre of pressure on the athletic starting block. *Sports Biomechanics*, 20(4): 481-494, 2021.6
6. 沼田薫樹, 濱田幸二, 坂中美郷, 柏木涼吾, 高橋仁大: 女子バレーボールにおける決定木分析と項目反応理論を用いた達成基準と困難度の検討. *バレーボール研究* 23(1): 18-23, 2021.6
7. Feser, E, H., Bezodis, N, E., Neville, J., Macadam, P., Uthoff, A, M., Nagahara, R., Tinwala, F., Clark, K. and Cronin, J.: Changes to horizontal force-velocity and impulse measures during sprint running acceleration with thigh and shank wearable resistance. *Journal of Sports Sciences*, 39(13): 1519-1527, 2021.7
8. Nagahara, R.: Kinetic and kinematic synchronization between blind and guide sprinters. *Journal of Sports Sciences*, 39(14): 1661-1668, 2021.7
9. Uthoff, A., Zois, J., Van, Den., Tillaar, R. and Nagahara, R.: Acceleration mechanics during forward and backward running: A comparison of step kinematics and kinetics over the first 20m. *Journal of Sports Sciences*. 39(16): 1816-1821, 2021.8
10. Gleadhill, S., Yuki, N., Wada, T. and Nagahara, R.: Kinetic and kinematic characteristics of sprint running with a weighted vest. *JOURNAL OF BIOMECHANICS*, 126110655, 2021.8
11. Van, den, T, R., Nagahara, R., Gleadhill, S. and Jimenez-Reyes, P.: Step-to-Step Kinematic Validation between an Inertial Measurement Unit (IMU) 3D System, a Combined Laser plus IMU System and Force Plates during a 50 M Sprint in a Cohort of Sprinters. *SENSORS*, 21(19): 6560, 2021.9
12. 田中勇悟, 金高宏文, 小森大輔: 高速移動を目指したスキップ運動の動作タイプと疾走運動との関係. *スポーツパフォーマンス研究*, 13: 543-561, 2021.9

13. 下川美佳, 村田桃子, 本嶋良恵, 竹中健太郎: 女子剣道競技者の中段の構えにおける体重配分と打撃時間および打撃動作に伴う地面反力について: 相手の動作に反応し相打ちを制する場面を想定した試技より. *スポーツパフォーマンス研究*, 13 : 503-515, 2021.9
14. Bezodis, N., Colyer, S., Nagahara, R., Bayne, H., Bezodis, I., Morin, J. B., Murata, M. and Samozino, P.: Ratio of forces during sprint acceleration: A comparison of different calculation methods. *JOURNAL OF BIOMECHANICS*, 2021.10
15. Uthoff, A. M., Macadam, P., Zois, J., Nagahara, R., Neville, J. and Cronin, J. B.: Effects of forearm wearable resistance during accelerated sprints: From a standing start position, *JOURNAL OF SPORTS SCIENCES*, 39(22): 2517-2524, 2021.11
16. Nagahara, R., Wakamiya, M., Shinohara, Y. and Nagano, A.: Ground reaction forces during sprint hurdles. *JOURNAL OF SPORTS SCIENCES*, 39(23): 2706-2715, 2021.12
17. 田川浩子, 金高宏文, 山口大貴, 小森大輔, 瓜田吉久: ある大学女子円盤投競技者における運動意識と地面反力のモニターによるファーストターンの技能改善. *スポーツ運動学研究*, 34 : 143-162, 2021.12
18. Koya, N., Kitamura, T. and Takahashi, H.: The relationship between service performance and physical strength focusing on speed and spin rate in Japanese elite junior tennis players. *International Journal of Racket Sports Science*, 3(2): 10-20, 2022.1
19. 松村勲, 川邊健斗, 金高宏文: 空気圧式体重免荷トレッドミルを活用したランニング動作修正の試み: ヒールストライクを有する大学女子中距離選手の場合. *スポーツパフォーマンス研究*, 14 : 82-96, 2022.3
20. 沼田薫樹, 濱田幸二, 坂中美郷: コロナ禍における大学女子バレーボールチームを対象としたインカレ優勝までの過程. *コーチング学研究*, 35(2) : 295-302, 2022.3
21. 柏木涼吾, 村上俊祐, 岡村修平, 沼田薫樹, 岩永信哉, 高橋仁大: テニスにおける1stサービスのスピード及び回転数とポイント取得率の関係—サービスコースに着目して—. *九州体育・スポーツ学研究*, 36(2) : 1-12, 2022.3
22. 本嶋良恵, 鈴木智晴, 藤井雅文: 簡易計測機を用いた野球の打撃パフォーマンス評価の妥当性. *体育測定評価研究*, 21 : 25-31, 2022.3
23. 林衛宣, 陳書璋, 龔榮堂, 前田明, 湯文慈 (Wei-Hsuan Lin, Shu-Wei Chen, Jung-Tang Kung, Akira Maeda, Wen-Tzu Tang): 矯正運動介入對美國職棒投手投擲動作及功能性動作檢測之變化: 個案分析報告 (The effects of corrective exercise on pitching motion and functional movement in MLB a pitcher - A case study). *華人運動生物力學期刊 (Chinese Journal of Sports Biomechanics)*, 19(1): 31-37, 2022.3

〈学会発表〉

1. 藤井雅文, 中出寛省, 鈴木智晴, 前田 明:アーゼライトの摂取が大学野球選手の身体組成に及ぼす効果. 第7回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2021.6 (ポートメッセなごや)
2. 鈴木智晴, 前田 明:日本代表捕手の二塁送球動作. 第7回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2021.6 (ポートメッセなごや)
3. 余田雄飛, 藤井雅文, 鈴木智晴, 前田 明: **Functional** 理論に基づく機能的ウォーミングアップの可能性 -大学野球選手を対象にしたプログラムの改良-. 第7回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2021.6 (ポートメッセなごや)
4. 沼田薫樹, 濱田幸二, 和田智仁, 村田宗紀, 前田明, 坂中美郷:大学女子バレーボール選手における跳躍負荷に関する研究. 第7回スポーツパフォーマンス学会, 2021.6 (ポートメッセ名古屋 (オンライン))
5. 松江 拓, 前田 明:ソフトテニスラケットにおけるストリングテンションの違いがストロークパフォーマンスに及ぼす影響. 第7回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2021.6 (ポートメッセ名古屋 (オンライン))
6. 大山栞爾, 佐藤伸之, 登 賢太郎, 前田 明:大学生野球選手の打撃パフォーマンスの左右差. 第7回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2021.6 (ポートメッセ名古屋 (オンライン))
7. 村上俊祐, 柏木涼吾, 岡村修平, 田代翔, 中村和樹, 果子翔, 高橋仁大:打球データを活用したコーチングの実践-サービスの指導事例-. 第33回テニス学会, 2021.9 (オンライン)
8. 濱口和人, 下山智大, 小澤雄二, 出口達也, 前田明:回転ボックスジャンプトレーニングが大学柔道選手における内股の動作時間に及ぼす影響. 日本武道学会第54回大会, 2021.9 (日本武道学会本部 (オンライン))
9. 柴田翔平, 島名孝次, 角淳之介, 蔭山雅洋, 前田明, 藤井雅文, 鈴木智晴:動力学シナジーに基づく野球・投球動作における上肢によるボール回転数制御メカニズムの検討. 日本機械学会 シンポジウム, 2021.11 (オンライン)
10. 島名孝次, 柴田翔平, 角淳之介, 蔭山雅洋, 前田明, 藤井雅文, 鈴木智晴:野球の投球動作における身体各セグメントの姿勢とボール回転軸との関係. 日本機械学会 シンポジウム, 2021.11 (オンライン)
11. 柴田翔平, 島名孝次, 角淳之介, 蔭山雅洋, 前田明, 藤井雅文, 鈴木智晴:動力学シナジーに基づく野球・投球動作における上肢によるボール回転数制御メカニズムの検討. 日本野球科学研究会第8回大会, 2021.11 (金沢星稷大学)
12. 島名孝次, 柴田翔平, 角淳之介, 蔭山雅洋, 前田明, 藤井雅文, 鈴木智晴:野球の投球動作における身体各セグメントの姿勢とボール回転軸との関係. 日本野球科学研究会第8回大会, 2021.11 (金沢星稷大学)

13. 大山栞爾, 佐藤伸之, 登賢太郎, 鈴木智晴, 藤井雅文, 前田明: 右投右打の逆打席での下肢・地面反力の特徴. 第 8 回野球科学研究会, 2021.12 (金沢星稜大学)
14. 鴻江寿治, 鈴木智晴, 前田明: 鴻江寿治トレーナー×鹿屋体育大学 SP センター 鴻江理論 うで体・あし体の産学連携による検証と現場での活用事例. SPORTEC2021, 2021.12 (東京ビッグサイト)
15. 佐藤伸之, 藤井雅文, 前田明: 大学野球選手におけるコース別の打撃意識に関する調査—打撃フィールドバック用紙作成に向けて—. 第 8 回野球科学研究会, 2021.12 (金沢星稜大学)
16. 前田明, 中出寛省, 藤井雅文: 野球×(株)サモリット×鹿屋体育大学 SP センター カラダを大きくしたいアスリートへの研究 産学連携によるアーゼライトの効果検証. SPORTEC2021, 2021.12 (東京ビッグサイト)
17. 福永哲夫, 佐々木剛, 前田明: スポーツパフォーマンスパビリオン オープニングセッション これからのスポーツパフォーマンス研究を語る. SPORTEC2021, 2021.12 (東京ビッグサイト)
18. 村上俊祐: 打球データを活用したサービスの指導事例. 第 22 回テニスフォーラム, 2022.1
19. 大澤啓亮, 村上俊祐, 沼田薫樹, 高橋仁大: テニスのサービス動作技能習得のための評価基準作成に関する研究. 日本コーチング学会第 33 回学会大会, 2022.3 (オンライン)
20. 高橋仁大, 田代翔, 中村和樹, 柏木涼吾, 岡村修平, 村上俊祐: 大学女子テニス選手を対象としたサービスのパフォーマンス向上の取り組み事例. 日本コーチング学会第 33 回学会大会, 2022.3 (オンライン)
21. 松江拓, 竹中健太郎, 前田明: ソフトテニス指導者の着眼点について —熟練の指導者は選手のどこを見て課題を設定しているのか—. 日本コーチング学会 第 33 回学会大会, 2022.3 (Web 開催)
22. 青木竜, 西山涼, 甲斐智大, 塩川勝行: サッカーにおけるヘディング能力の主観的及び客観的評価の関係—片足での跳躍能力に着目して—. 日本コーチング学会 第 33 回大会, 2022.3
23. 沼田薫樹, 東美奈, 坂中美郷, 濱田幸二: 大学女子バレーボール選手のセッターにおける注視点に関する研究. 日本コーチング学会第 33 回学会大会, 2022.3 (オンライン)
24. 沼田薫樹, 坂中美郷, 濱田幸二: スパイクにおえる跳躍高と攻撃結果の関係. 日本バレーボール学会第 27 回大会, 2022.3 (オンライン)